

【2015 年度 RFLJ プロジェクト未来 助成研究者の横顔 11 田中正光先生】

第 11 弾は「基礎研究・臨床研究」（I 分野）よりご紹介致します。

- ◆秋田大学大学院医学系研究科分子生化学講座
- ◆研究テーマ「中皮細胞の鎮静化による消化管癌の浸潤・播種 抑制療法の開発」
- ◆助成金額 200 万円

1. 研究者になろうとしたきっかけ

医学部卒業後入局した病理学教室で、腫瘍を生物現象として形態から分子機序などについてあれこれ想像を巡らす時間が多く取れ、興味を持たれた事です。

2. 助成研究の内容紹介

胃癌の中でも比較的若年に多く、予後が悪いタイプとしてスキルス胃癌があります。これは腹膜転移が深刻な死亡原因である癌です。腹膜は腹部内臓を覆っているシート状の膜で、その表面には中皮細胞が並んでいます。これまでの研究で中皮細胞が癌細胞をサポートしていると思われる様子が観察された事から、癌組織における中皮細胞を大人しくさせれば癌の抑制に有効ではないかと考えて今回研究を進めたいと思っています。

3. 将来に繋がる結果予想

中皮細胞を鎮静化するツールを見出せば、従来の抗癌剤との併用で治療効果が上がる事を期待しています。

4. 全国の RFLJ 関係者に一言

助成に採択いただき、ありがとうございます。治療に結びつく成果を出せるように努力したいと思います。